



公孫樹

知恵を出せ

汗を出せ

そして鍛えよう

令和5年12月25日発行

発行者：小山市立小山第二中学校長 矢口 大

猛暑の中で始まった2学期も今日で終わりです。朝から厳しく照りつけていた日差しも、今ではすっかり心温まる柔らかさになりました。この4か月間、実に様々なことがありましたが、生徒たちの笑顔と頑張りにいつも元気をもらいました。また、保護者、地域の皆様からもたくさんのお褒めや励ましの言葉をいただきましたことに、深く感謝いたします。

明日からは冬休みになり、間もなく2024年となります。皆様が素晴らしい新年を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。

2学期終業式

～こんな話をしました～

授業日数78日という長かった2学期も今日で終わります。

2学期の始業式で、皆さんに2学期の心構えについてお願いしました。1年生には「中学生として自立してほしい」、2年生には「中学校生活の振り返りである2年2学期を緊張感をもって過ごしてほしい」、3年生には「小山二中という慣れ親しんだ港からの出航に備えてほしい」と話しましたが、いかがだったでしょうか。充実した学校生活を送ることができたでしょうか。

2学期はいろいろなことがありましたが、生徒の皆さんは自問清掃や学習、部活動、行事等、様々な活動を通して、心身ともに着実に成長してくれました。大変嬉しく思っています。

3学期は次の学年の0学期と言われる。進級や卒業、進学といった次の段階に向けて準備することの大切さを表した言葉だと思います。

明日からの冬休みを大切に過ごしましょう。そして短いけれどもとても大切な3学期のスタートに備えましょう。



道徳教育の充実

～2つの公開授業がありました～

その1 「心を育てる学校教育の日」(保護者対象)

11月29日(水)5時間目に全学級が道徳の授業を実施し、保護者の皆様に参観していただきました。どの学級も生徒が一人で考えたり、友達と話し



あったり、また、タブレットに自分の考えを書き込み、友達と共有したりして、考えを深めていました。

タブレットに書き込んだ意見をスクリーンで共有しました。

その2 「道徳教育拠点校公開研究発表会」(教職員対象)

12月13日(水)に「道徳教育拠点校公開研究発表会」を行い、令和4・5年度の2年間の研究成果を発表しました。当日は市内小・中・義務教育学校や小山市教育委員会からたくさんの来校者があり、1年4組と2年3組の研究授業に続き、自問清掃や帰りの学活の様子を参観していただきました。



来校者からは、生徒たちの自発的、主体的な学校生活の様子にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

たくさんの先生方に囲まれて緊張しました。

新入生オリエンテーション ～4月に会いましょう！～

12月4日（月）に「令和6年度新入生オリエンテーション」を行い、生徒会本部役員が学校生活について寸劇で紹介したり、私から「中学校で頑張りたいことを今から考えてほしい」と話したりしました。来年度は108名が入学予定です。4月に新入生に会えるのが楽しみです。



授業の様子に興味津々です。

生徒会長・副会長選挙 ～熱い想いに溢れていました～

12月18日（月）に「令和6年度生徒会長・副会長選挙立会演説会」と投票が行われました。今回は会長候補9名（2年生）、副会長候補7名（1年生）が立候補しました。選挙期間中は、早朝から正門周辺に立候補者や応援の生徒が立ち支持を呼びかけるなど、熱気に溢れた選挙運動となりました。

演説会当日は、どの立候補者も「小山二中をもっとよくしたい」という想いを熱く語り、会場は真剣な雰囲気になりました。

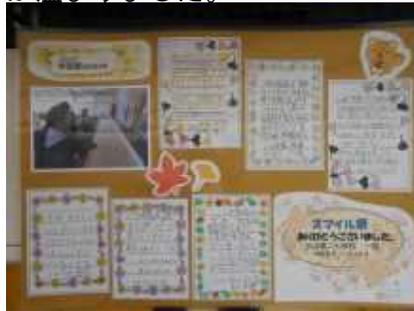
今回立候補した16名の生徒たちは、態度、演説の内容ともに素晴らしく、全員に当選してほしいと思いました。残念ながら結果は分かれますが、これからの小山二中のために、今回の立候補者全員が各自の立場から力を発揮してくれることを期待しています。

真剣な気持ちで投票です。



小山二小スマイル祭 ～学芸部にお礼の手紙をいただきました～

小山第二小学校の「スマイル祭」（11月18日（土）開催）に本校学芸部の作品を展示していただきました。これは、小中一貫教育の一部として、小学生に中学校への理解を深めてもらうために行ったものです。すると後日、小山第二小学校の児童たちから学芸部宛にお礼の手紙が届きました。1年生から6年生まで心のこもった内容ばかりで、受け取った生徒たちも心が温まりました。



素敵なお手紙ありがとうございました。

下野新聞「読者登壇」 ～たくさん採用されています～

下野新聞に「読者登壇」というコーナーがあり、県内の中高生が投稿した文章が毎日掲載されています。本校では生徒の「書く力」を育成するために投稿を奨励しており、今年度はこれまでに21の投稿が採用されています。また先日は下野新聞の担当の方から「二中学生の投稿は表現力豊かで個性溢れる内容であり、読者からも好評です。」とのお知らせを受けました。読者に喜んでもらい、また新聞記者という「書き言葉のプロ」からはお褒めの言葉をいただけて大変うれしく思いました。皆さんも機会がありましたらご一読ください。なお、掲載された投稿は職員室前廊下に掲示してあります。



掲載された投稿が増えています。